

税金の役割を学ぶ  
税に関する絵はがき  
コンクール

「税に関する絵はがきコンクール」は、税金が私たちの暮らしにどのように役立っているのか、税の意義や役割などを理解し、その必要性や使い道について考えてもらうため、小学生を対象に毎年実施されています。

今年は大東税務署管内から505名の応募があり、町内から9名の皆さんが、雲南地区審査会で表彰を受けました。



飯南町長賞を受賞した永田さんと  
入選の山中さん、原田さん(前列右から)

おいしいお米をおいしく食べる  
エコロジー米生産者大会

11/17  
土

エコロジー米の生産拡大を目的とした「第9回飯南町エコロジー米生産者大会」を保健福祉センターで開催しました。大会では、大ヒット商品GOPANの開発者、Kラボの下澤理如さんが、「おいしいごはんとは？」飯南町の米の場合」と題し講演。「おいしいお米と、おいしい炊き方の両方が大切」、などと話がありました。前日に開催された、第11回うまい米コンテストの表彰式、エコ米栽培グランドマスター認定式での受賞者は次の皆さんです。

一般部門金賞受賞者(敬称略)  
・山本弘和(真木) ・三上仁史(小田)  
・山戸勝英(角井) ・三浦幹夫(八神)  
・山崎英樹(小田)



藤川末子さん

地域を引っ張る！  
農林水産業で頑張っている  
リーダーを表彰

飯南町ヤマトイモ生産組合組合長の藤川末子さん(下赤名)が、しまねの農林水産業・農山漁村「頑張っているリーダー」として、県知事表彰を受賞しました。

藤川さんは、ヤマトイモの栽培技術の研究や実証に積極的に取り組み、組合員を牽引。平成21年からは組合長として、新規就農研修者の受け入れや生産技術向上のための指導に尽力し、地域のリーダーとして活躍されています。



金賞受賞者、グランドマスター認定者の皆さん

グランドマスター部門金賞  
・農事組合法人角井営農組合(角井)  
グランドマスター認定  
・安原征治(下赤名) ・深石光昭(上区)  
・塚原隆昭(花栗)

※一般部門で通算3回金賞を受賞した生産者をグランドマスターに認定。次回から、グランドマスター部門へ参加できます。



飯南町青色申告会長賞  
河原 吉美さん(赤名小6年)



飯南町長賞  
永田 佳澄さん(頼原小6年)

飯南町教育長賞  
内田 夏菜さん(来島小6年)



入選  
八嶋 剛さん(赤名小6年)



(公社)雲南法人会飯南支部長賞  
高岡 咲季さん(志々小6年)



入選  
藤原 みず季さん(志々小6年)



入選  
三上 璃子さん(来島小6年)

ねんりんピックゲートボール  
ついのチーム  
がベスト16

11/3  
土

11/5  
月

厚生労働省などが主催する「ねんりんピック富山2018(第31回全国健康福祉祭とやま大会)」に、ゲートボール交流大会の島根県代表として「ついの」チームが出場し、ベスト16に輝きました。

全国から142チームが集まる中、予選を1位で突破。決勝トーナメントではベスト8をかけて、本大会で優勝した宮崎県の強豪チームと対戦。敗れたものの、抜群のチームワークで健闘されました。

チーム代表の後長齊さんは、「ゲートボールは頭脳スポーツ。チームワークを大切に、これからも仲間と一緒に楽しみたい」と話していました。

後長齊さん(中央)と、後長止男さん(左)が  
教育長に健闘を報告



ついのチームの皆さん

毎週水曜日と土曜日の  
夜7時半から練習



まちの魅力を言葉に  
第2回ヒトカラ  
hitocolor・イイナン

11/11  
日

第2回共創デザインスタジオ「ヒトカラ・hitocolor・イイナン」を開催し、「飯南町ってどんなまち」をテーマに、町の魅力を客観と主観2つの視点で探りました。(全6回講座)

地域活性化センターの小嶋敦夫さんによるワークショップでは、「飯南町ではこんな人が幸せになれる」「飯南町が幸せにできる人はどんな人か」、具体的な人物像を考え、まちの魅力を言語化。また、同センターの小松純也さんが、地域経済分析システムREASASを紹介。「データでまちを見る視点」の大切さを参加者に伝えました。

お昼を挟み、7時間という長丁場でしたが、講座終了後参加者は充実した表情を浮かべていました。



このまちの魅力ってなんだろう  
具体的に真剣に楽しく話します